

平成〇年（〇）第〇〇〇号

原告 A社

被告 〇〇〇〇

答 弁 書

平成〇年〇月〇日

〇〇〇〇裁判所 御中

被告 〇〇 〇〇 印

第 1 請求の趣旨に対する答弁

- 1 原告の請求を棄却する
 - 2 訴訟費用を原告の負担とする
- との判決を求める。

第 2 請求の原因に対する答弁

いずれも否認ないし不知。

第 3 被告の主張

(消滅時効の抗弁)

原告の被告に対する債権について、被告が期限の利益を喪失してから商法 5 2 2 条所定の 5 年間の商事消滅時効期間が経過している。

被告は、本答弁書をもって上記時効を援用する。

第 4 結語

よって、原告の請求は理由がないことが明らかであるから、速やかに棄却されるべきである。

以 上